



TITLE:

九月の星の空

AUTHOR(S):

CITATION:

九月の星の空. 天界 1928, 8(90): 406-407

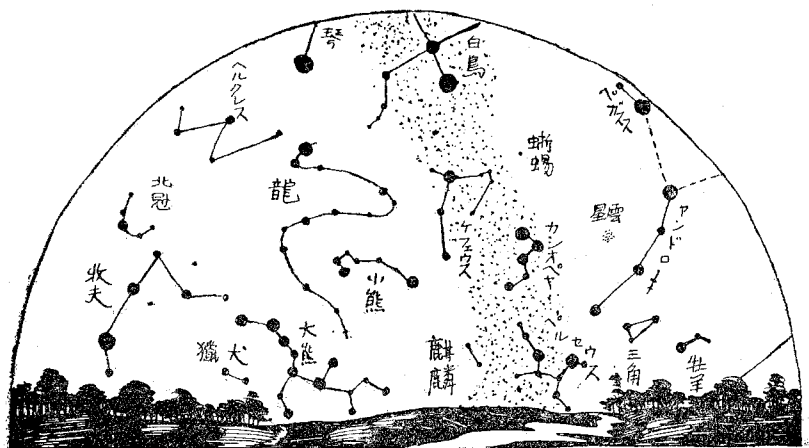
ISSUE DATE:

1928-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161330>

RIGHT:

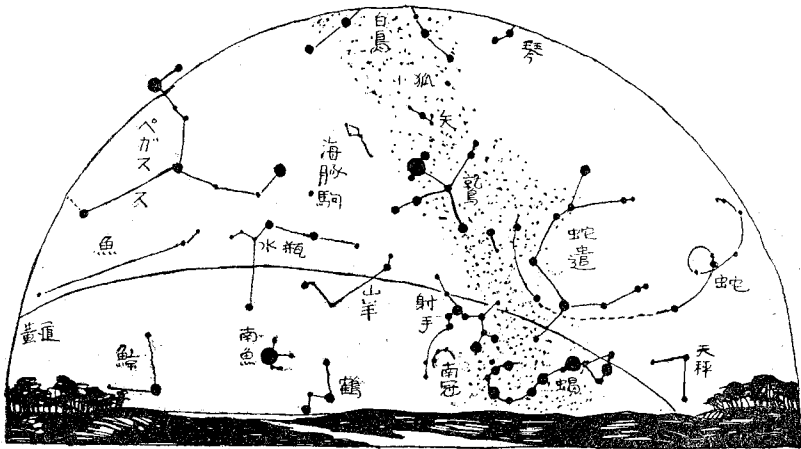


九 月 の 星 の 空 (北 天)

恒 星 界

二百十日の厄日も過ぎるを、朝夕は肌寒さを感じる様になったが、前月分の続きがもう少し残つてゐるから此處へ書き續ける事にする。

ヘルヘレス座クシ星は3等の黄星と6等の青星との連星、其の週期が35年である。同座ア星も二重星で2等の橙色星と6等の青星とからなるが距離が5秒足らず故、小望遠鏡では駄目又口星も5等と6等との二重星で3時で美しい。M92は口星の北約5度の邊にあり肉眼でも見える球状星團である。龍座M102は渦巻星雲、白鳥座ベ星は美しき二重星、黄と青との對稱で距離34秒、双眼鏡でも見えぬ事はない。北アメリカ星雲此れは此星座ア星の東數度の處にあり、甚だ廣大であるから極く低倍率の望遠鏡か廣角の双眼鏡にて晴夜探せばかすかに見得る。形が北米大陸に甚だ似てゐるので此の名がある。同座SS星は興味ある變光星である。同座テ星は3等と8等との連星、距離が1.8秒であるから4時でやつと見得る。良好の4時ならば150倍でよく見えるから4時の能率試験用として適當の星。セフェ座テ星は有名な變光星。同座ベ星は3.3等と8等との二重星である。伴星の光度が小であるから3時は必要。M15はペガス座エ星の西にある球状星團で肉眼でもかすかに見得る。アンドロメダ大星雲はM31で同座又星近く肉眼でもあざやかに見る事が出来る。長經は3度に及ぶカシオペア座エー星、イ星、ラ星等二重星。M52は同座ベ星とセフェ座クシ星との略中央にある星團。M103は同座テ星の直ぐ東にある散開星團、ヘルセ座二重星團は有名な双眼鏡的星團高倍率の望遠鏡では星が散開しすぎて却つて面白くない。M34は同座ベ星とアンドロメダ座が星との略中央にあり肉眼でも幽かに見え、3時30倍ならば實に見事である。アルゴール星は即ち同座ベ星、有名な食變光星、同座ア星附近は星多く、双眼鏡で見ると頗る美しい所である。



九 月 の 星 の 空 (南 天)

太 陽 系

太陽 中旬まで處女宮に在り、23日より天秤宮に入る。星座は月半ばまで獅子座に、18日より乙女座に入る。23日午後5時秋分點通過。

月	下弦	7日午前7時35分	上弦	22日午前11時58分
	新月	14日午前10時20分	満月	29日午後9時43分

水星 宵の星、10日午後8時金星と合、以後金星と共に次第に太陽より離れ30日午後1時東方最大離角(26度)となり、本年中では三月の最大離角に次ぐ大さで觀望には好都合。月末の光度0等、視直径6秒、望遠鏡で見れば殆んど上弦の月と同じく、半圓型をなしてゐるのが見られる。

金星 水星と同じく宵の星で乙女座 α 星の東に在り、光度負3等、視直径10秒、望遠鏡で見れば水星とは異り、殆んど圓に近い。

火星 夜半前の出現、牡牛座 β 星の南を順行、光度0等、視直径9秒、大體に於て地球太陽間の距離と地球火星間の距離とは等しい。

木星 牡羊座の中央に位し、光度0等、視直径42秒にて可成りに大きくなつた。

土星 宵の星、6日午前1時太陽と東距、其後は次第に太陽に近く、且つ視直径14秒となり以後は小さくなる一方、土星を見るのも本年は先づ今月までである。位置は蝸座 α 星の東北。

天王星 例に依つて獅子座 α 星に近し、月末には地球に最も接近するのであるがそれでも視直径36秒、光度6.1等、地球太陽間の距離の19倍の遠方である。

海王星 曉の星なれど太陽に近く觀望不能。